

○ 牛個体識別台帳システム信頼性確保対策事業

【令和7年度予算概算決定額 32 (62) 百万円】

<対策のポイント>

牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法に基づき、正確な牛個体識別情報の記録を確保することで、関係事業者や消費者の信頼性確保や円滑な流通、牛肉の輸出促進を図るため、届出システムの改修を行うとともにエラーチェック機能を向上させます。

<事業目標>

管理者等からの届出におけるエラーの2割削減 [令和9年度まで] による牛個体識別情報の精度向上と監視・指導業務の効率化

<事業の内容>

牛個体識別台帳システムの高機能化による信頼性確保対策事業

管理者等が利用する届出システム等の見直し・改善による届出エラーの減少により牛個体識別情報の精度向上と監視業務の効率化を図るため、令和6年度に改修する届出システムの利便性の向上や、これまでのエラー発生状況を踏まえたエラーチェック条件の見直しを支援します。

管理者等からの届出の状況 (R3年度実績)

管理者からの届出数	届出エラー数	届出エラー率
1,120万件	16.5万件	(1.5%)

2割削減

R9年度目標 13.2万件 ▲3.3万件 (1.2%)

<事業の流れ>



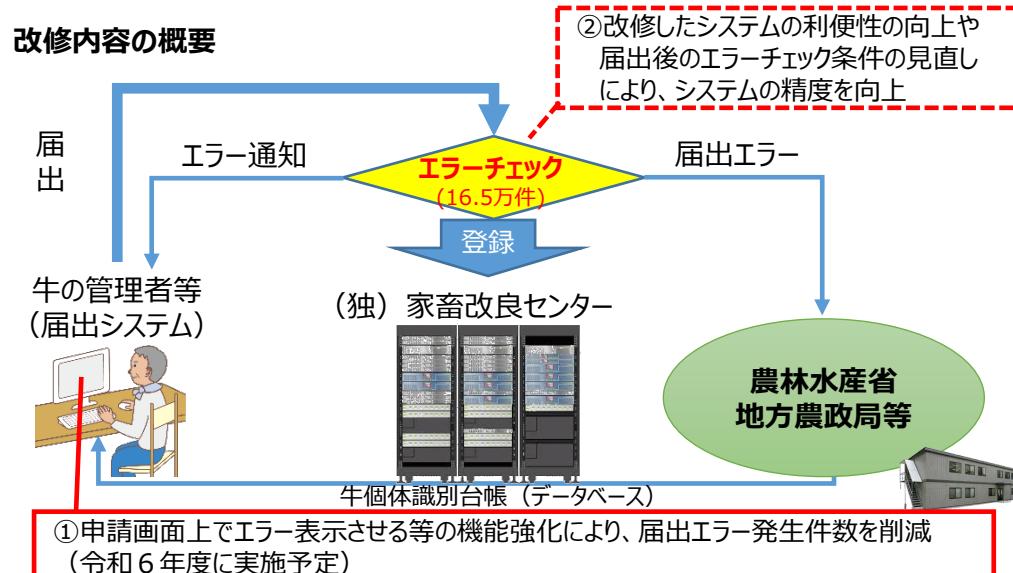
<事業イメージ>

牛個体識別情報の活用



※重大な疾病が発生した際、生産履歴を遡り同居牛の特定が可能
その他、補助事業等での事務負担の軽減、家畜共済や畜産統計等で活用

改修内容の概要



[お問い合わせ先] 消費・安全局畜水産安全管理課 (03-6744-1525)